

コラム 世界道路協会 (PIARC) TC2.4 冬期サービス委員会の委員としての活動

雪氷チームの松澤上席研究員は世界道路協会 (PIARC) TC2.4 冬期サービス委員会委員として、以下の活動を行いました。

(1) 冬期サービス委員会への出席

平成 27 年の委員会(写真-1)は、フィンランド共和国ヘルシンキ市(平成 27 年 3 月)と大韓民国ソウル市(平成 27 年 11 月)で開催され、以下の議論を行いました。



写真-1 TC2.4 冬期サービス委員会
(フィンランド)

- 1) 第 14 回国際冬期道路会議(2015)の総括
- 2) PIARC の次期(2016-2019)戦略計画
- 3) 世界道路会議ソウル大会の準備
- 4) 分野別ワーキンググループ(WG)のミーティングおよびレポートのとりまとめ 等

特に、WG の一つである「極度の豪雪や長期にわたる降雪現象時の危機管理」に参加し、世界各国からケーススタディーを収集し、①リスクの把握、②関連機関相互の連携、③新技術の活用などの提言の作成に協力しました。

(2) 世界道路会議の論文査読

第 25 回世界道路会議(平成 27 年 11 月開催)への応募論文の査読を行いました。

(3) 世界道路会議での委員会活動報告

第 25 回世界道路会議において冬期サービス委員会の活動報告を分担し、雪氷データブックの概要について報告を行いました。雪氷データブックには、世界各国の冬期道路サービス水準や雪寒施策、雪寒対策技術等が記載されており、4 年ごとに改訂されています。寒地土木研究所は、国土交通省と連携して、雪氷データブックにおける日本の記載内容について改訂作業も行っています。この冊子は、PIARC のホームページにて無料で公開されており、世界各国への日本の冬期道路関連施策・技術等の情報発信に貢献しています。

PIARC は、140 を越える国・地域が加盟している国際機関で、内部には約 20 の技術委員会があります。TC2.4 冬期道路サービス委員会もその一つで、松澤上席研究員は、平成 21 年から、日本を代表して参画しており、平成 28 年 1 月からの新しい計画期間においても、引き続き委員を務めています。寒地土木研究所は、今後とも世界道路協会(PIARC)委員会等に参画し国際貢献を図っていきます。